



LEE

010

Prehistoric Animals with Denim

デニムでオオツノジカをつくろう



Lee®

リー - せいぞうこうてい Leeのジーンズの製造工程で出てくる残布ざんぶを使って、ぬいぐるみをつくろう。かつて地球上そんざいに存在し、今は絶滅ぜつめつしてしまった生きものを、毎回ぬいぐるみとしてよみがえらせます。第10回は、オオツノジカ。先生は、デザイナーでエシカルアート作家きぬ た ま さ ゆ きの衣田雅幸さんです。



*型紙として使用できます。お好みの大きさに拡大コピーしてください。

【オオツノジカ】

- 偶蹄目シカ科
- 植物食
- 体長 3m
- 角の横幅 3.6m

氷河期のユーラシア大陸北部の草地や林で暮らしていた大型のシカ。オスの角は手のひらを広げたような形で、敵を威嚇したり、メスにアピールしたりした。人間による狩猟のため、7,700万年前ごろに滅んだといわれる。

How to make a Stuffed Irish Elk

オオツノジカのぬいぐるみのつくりかた



用意するもの
布3枚
糸
はさみ
布用ボンド
チャコペン
ピンセット



ぼくと同じ氷河期に
生きてたんだ!



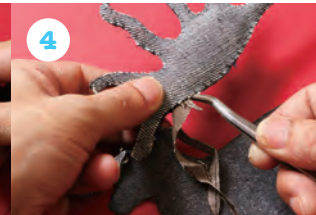
1 型紙の大きさに合わせて、ペンで布に写し、はさみで切る。



2 鼻と耳をボンドで留める。また、ピンセットとスパンコールで目をつける。



3 表面の部分を重ね合わせて、ボンドで仮留めし、おなかを縫っておく。



4 角の部分を合わせて縫い、ピンセットで残布を入れる。



5 体のまわりを縫い合わせていく。



6 足を少しずつ縫いながら、残布を詰めていく。



7 おなかの開いたところから残布を入れる。



8 クッションができたなら、体を最後まで縫って、できあがり!



体のなかに残布を詰めるときは、ピンセットなどで奥まで入れるとしっかり形ができますよ。綿を入れて、クッションにしてもOK。裏面にピンをつけるとアクセサリとしても楽しめます。いろんな色の布やステッチも挑戦してみてくださいね!

衣田雅幸

1974年、奈良県生まれ。デザイナー/エシカルアート作家。1993年より、創作活動を開始。Kinuu® PROJECTとして、ユニークな質感と躍動感のある布の彫刻をつくり続けている。

写真：福田真知子



アメリカの伝統を受け継ぐ エシカルなジーンズブランド

Leeは、1889年アメリカ・カンザス州サリナで誕生したジーンズブランド。これまで数多くのマスターピースを遺し、その技術や革新性は今も脈々と受け継がれています。伝統的なディテールは継承しつつ、現代にアップデートされたスタイル、美しいシルエット、クオリティの高さを兼ね備え、日本ではオーガニックコットンを積極的に採用するなど、エシカルなブランドとしても注目されています。



【お問い合わせ】 リー・ジャパン株式会社 ☎ 0120-026-101 lee-japan.jp